

【南無阿弥陀仏って何？】

仏さまに手をあわせるときに、心に何か思い浮かべますか。口に何か言いますか。それとも何も思わない。何も言わない。ただ習慣として手をあわせているだけですか。

どうでしょうか。たとえば、こんなことはないですか。仏さまに手をあわせて、病気を治してもらいたい。お金をたくさんもらいたい。いい暮らしがしてみたい。幸せになりたい。そして最後に、何か言わないとカッコもつかないので、そこで「なんまんだぶつ、なんまんだぶつ」とお念仏を称えたことないですか。もしあれば、そういうお念仏は、自分の都合を満足させるために、私の根性で仏さまを念ずる私の念仏です。それはどれほど一生懸命に称えようと、私による人間の行（ぎょう）であります。この私に問題になることはありません。

それに対して、親鸞聖人が法然上人をとおして、我が身にいただかれたお念仏は、それとは全く反対に、仏さまが私を念ずる、仏さまの行です。仏さまの呼びかけです。親鸞聖人は「大」の一字を加えて大行（だいぎょう）と表しています。仏さまの大いなるおはたらきと言ってもいいでしょう。

つまりお念仏は、あらゆることを自分中心にしてしか考えない私たちに、仏さまが「それでいいのか」と問うてくださる呼びかけです。人を踏みつけ、傷つけ、時として殺しあつて、人間であることを見失っている私たちに、人間であることを回復せしめる根源のことばです。私たちが南無阿弥陀仏と念仏申すときは、仏さまが私を呼びかけてくださるときです。お念仏は、人間を見捨てない仏さまの願いが、まさしく南無阿弥陀仏の言葉となつて、私たちにまで届けられた仏さまの名告りなのです。決して、私たちの欲望を満足させる呪文ではありません。

（同朋大学特任教授 尾畑 文正 師）

聞法会

報恩講法要  
参拝旅行

3月16日

4月4日

4月13日

(月) 午後1時～午後3時迄

(土) 午後1時半～午後4時迄

(月) 映画国宝で話題の紀州の道成寺・鷲の森別院へ。

涅槃堂永代経納骨・墓地・見学受付中

お参りをお待ちしております

